

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	224-6
課題名	扁桃病巣感染症の発症メカニズムの解析
研究期間	西暦 2009 年 3 月 23 日 ～2020 年 3 月 23 日
研究の対象	1999 年 1 月から 2020 年 3 月まで当科で扁桃摘出術を受けた患者様
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：疾患、年齢、性別、手術日、検査データ、観察期間、手術後の病勢の推移など）</p> <p>■手術、生検で採取した組織（対象臓器等名：扁桃、皮膚、腎、骨組織）</p> <p>■血液</p>
研究の意義、目的	<p>掌蹠膿疱症、胸肋鎖骨過形成症、IgA 腎症、一部の糸球体腎炎、アレルギー性紫斑病、尋常性乾癬、ベーチェット病などは扁桃病巣感染症と呼ばれ、扁桃(腺)の炎症が原因の 1 つと考えられています。扁桃摘出術（扁桃を取る手術）により症状の良くなる割合が 60-90%と高く、扁桃の炎症が病気に関連していることは分かっていますが、扁桃がどのように全身に影響を及ぼしているか分かっていません。私たちは扁桃病巣感染症の原因の明らかにするために研究を行っています。以下の説明を熟読され、本研究に対する主旨をご理解して頂き、ご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。</p>
研究の方法	<p>扁桃摘出術で切除された扁桃や手術の前後で採取された血液を試料として研究します。診断名を決めるため腎生検、皮膚生検、骨生検が行われた一部の患者様の場合、その組織を利用することもあります。反復性扁桃炎、扁桃肥大の患者さんにも対照群として扁桃摘出術で切除された扁桃を利用させていただきます。患者様の診療情報と照らし合わせ扁桃病巣感染症に対する扁桃摘出術の有効性や新しい治療法の開発研究などを行います。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  研究責任者：高原 幹  所属：旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  郵便番号、住所：078-8510、北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目  電話番号：0166-68-2554</p>

